

CENTENARY

2009. 6. 15
第 27 号
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

教育実習

6月1日から2週間、3週間の予定で教員志望の卒業生が母校に戻ってきました。国語3名、地歴・公民4名、数学2名、保健体育3名、英語3名、合計15名の若い力です。

毎朝の交通指導立番から放課後の勉強や部活動の指導、さらには来る文化祭に向けて土曜、日曜を返上して毎日、夜遅くまで頑張っていました。



生徒に信頼されるよい先生になってくれることを期待していますが、7月には面接と筆答試験、8月には2次選考試験が控えています。この難関をぜひ突破して、将来の兵庫県を支える子供たちの教育にあたってほしいと思います。

実習生全員がいつか母校の教壇に立って、後輩たちを指導する日が来ることを願ってやみません。

連絡網 Eメールケーシヨン

五月に新型インフルエンザが兵庫県で確認され、臨時休業を余儀なくされました。

臨時休業の旨や体調管理や過ごし方はじめ、再開後の考查時間割や時間補充の連絡などを携帯電話で登録された方々への電子メール配信を通して行いました。

多くの方に登録をしておいていただいたおかげで他校に比べてスムーズに連絡をすることができました。

育友会総会や生徒を通じた文書で登録を呼びかけておりますが、まだ未登録のご家庭も、学校まで一報いただきましたら、わかりやすく説明させていただきます。

また、学校ホームページも更新を心がけていますので、ぜひご覧ください。

西高探索3 墨跡

3年後に百周年を迎える歴史と伝統ある本校にはいろいろな貴重なものがあります。校長室の隣、応接室の正面には本校の三校訓「責任・努力・友愛」の中の友愛という書が飾られています。

これは加古川西高等学校のために鳩山一郎氏が書かれたものです。鳩山一郎氏とは今話題の鳩山兄弟のおじいさんで総理大臣を勤められた人です。



ちょっと一言 福井県がこのたびの全国学力テストで小6が2位、中3が1位と好成績を残しています。その裏には何があるのかに迫ってみました。福井県出身で幕末に活躍をした中心人物の一人、「橋本左内」の存在が大きな影響を及ぼしているようです。左内が20歳の1853年にペリーの黒船が来航し、25歳の時には、日米修好通商条約が結ばれましたこの江戸時代の終わりに日本の将来について広い視野に立って物事を考え、見通しを持って行動する優れた人物でしたが、26歳で亡くなっています。福井市では「福井学」と名付けて「橋本佐内先生に学ぶ」事業が・